

この記事・写真は岩手日報社の許諾を得て転載しています。

# 盛岡大付、初回到猛攻 花北青雲、意地の7安打

【県営球場】

▽3回戦  
盛岡大付 6 0 0 1 2 0 2 | 11  
花北青雲 0 0 0 0 1 0 0 | 1

花北青雲

(七回コールド)

(盛) 花森、斎藤、伊藤、蓮尾  
(花) 藤井、野中、佐々木勇、高橋、米田  
☑伊藤 (盛)  
☑伊藤、鹿糠 (盛) 伊藤幸、佐々木勇 (花)

【評】盛岡大付が初回の猛攻で勝負を決めコールド勝ち。この回暴投で先制すると満塁から塩谷の右前打で2点。花森、佐々木の適時打などでこの回一挙6点を挙げ

た。花北青雲は7安打を放ったが、五回2死三塁から藤原幹の中前打で1点を返すにとどまった。初回に与えた5四球

▼2年生塩谷が大当たり  
盛岡大付は2年生が打線をけん引している。塩谷洋樹=写真=は2試合で5打数3安打6打点と大当たり。伊藤勇貴もこの日4安打の活躍だった。

6番塩谷は、初回1死満塁から右前打で2打点。四回も2死一、三塁から左前打で追加



が痛かった。

花北青雲・藤原幹太二塁手(2年)



(2安打1打点に)持ち味のセンター返しを私立相手に実戦できたことは自信になる。130キロ後半、140キロの速球を打てないと勝てない。しっかり練習し、秋には打ち返したい。

点を奪った。大会前は不調だったが、本番で本領を発揮。好打者の4番遠藤真(3年)が勝負を避けられることが多いため5、6番が打線の鍵を握る。塩谷は「チーム打撃を心掛けている。勝負強い打者がいい打者。チャンスで打ってチームに貢献したい」と気を引き締める。

## 芝生席

傘は重要アイテム

①…前日までの好天と一変し、厚い雲に覆われた県営球場。第1試合の



## 岩手高校野球

岩手日報モバイル(有料携帯サイト)で1回戦から最後まで全試合をインターネット速報します

七回裏の攻撃が始まると青い傘を振って、商業高ならではの大きなそろばんを掲げて、「点を稼げ」と言わんばかりに大応援。千葉朋樹応援団長(3年)は「傘踊りは一番盛り上がる。傘があるので雨でも大丈夫。一体となってチームを勝たせたい」とはかま姿で乱舞した。

意周到なことかと思いきや、雨への用心ではありません。花北商時代から受け継ぐ伝統の「傘踊り」写真の重要アイテム